

## FD 学外セミナー参加報告書

氏名：梅津郁朗

所属/職名：理工学部教授

参加セミナー名：物理学教育におけるアクティブ・ラーニング研究対話集会  
(私立大学情報教育協会)

セミナー参加日時/場所：2014年12月21(日)14時～16時 東京理科大学 森戸記念館

### ■セミナー内容・所感・授業や本学への活用について

1)反転学習、2)ジグソーメソッド、3)オンラインフォーラムを用いた学習に関する三点の講演と一時間ほど意見交換があった。1)では学部生のTAのサポートを受け反転授業とピアラーニングを組み合わせた方法が紹介された。2)の講演ではBrains-onの状態にするためのジグソーメソッドが紹介されたが、本学で通用するか疑問が残る。講演者の筆者の質問に対する回答から推察すると、この手の授業を成功するには教員のスキル、大学の支援体制、TA等の補助者が必要なようである。集会の最後に主催者側の見識者が学問の世界が欧米一局型から、新興国を交えた多極化へ向かっている現在、教育技術論ではなく、如何に学生に考えて判断する力をつけさせるか教育者側の魂が重要であると指摘した点は大きく共感した。

### ■セミナー内容・所感・授業や本学への活用について

1)反転学習、2)ジグソーメソッド、3)オンラインフォーラムを用いた学習に関する三点の講演と一時間ほど意見交換があった。1)では学部生のTAのサポートを受け反転授業とピアラーニングを組み合わせた方法が紹介された。2)の講演では Brains-on の状態にするためのジグソーメソッドが紹介されたが、本学で通用するか疑問が残る。講演者の筆者の質問に対する回答から推察すると、この手の授業を成功するには教員のスキル、大学の支援体制、TA等の補助者が必要なようである。集会の最後に主催者側の見識者が学問の世界が欧米一局型から、新興国を交えた多極化へ向かっている現在、教育技術論ではなく、如何に学生に考えて判断する力をつけさせるか教育者側の魂が重要であると指摘した点は大きく共感した。